



発達障害児支援・第2期子ども・子育て支援事業計画について

やなぎさわ ひろ ゆき
柳沢浩之(清風クラブ)

未就学児の発達障害児への支援について

問 乳幼児期の発達障害児は、人間形成に重要な時期である。児童発達支援の必要性の考えは。

答 (保健福祉部長) 発達障害を早期に発見し、障害児の特性を周囲が理解し、得意なことを伸ばしながら苦手を克服していく療育支援を実施することで社会生活での適応力が向上します。

問 発達障害児支援は、児童発達支援センターの充実が必要では。

答 (保健福祉部長) 発達障害児の家族を支援するためには、複数の関係機関が連携し、質の高い持続性のある支援が必要です。関係機関が情報の連携を強めることで、児童発達支援センターの機能の充実も図れます。

幼児期の教育・保育サービスの提供体制の整備について

問 幼児教育・保育施設の利用状況は。

答 (保健福祉部長) 市内の保育所11カ所、認定子ども園7カ所、地域型保育2カ所で、利用定員1,465名のところ1,393名の利用です。

問 園児に対応する保育士の配置基準は。

答 (保健福祉部長) 0歳児は3人に対して1人、1・2歳児は6人に対して1人、3歳児は20人に対して1人、4・5歳児は30人に対して1人となっています。

問 保育者の人材確保と育成は。

答 (保健福祉部長) 保育人材を確保し育成していくことは、子育て環境の充実に必要不可欠です。民間保育施設から要望を聞き必要な対策を講じます。

その他、保育の充実、地域子ども・子育て支援事業の提供体制の整備、地域子育て支援拠点事業、小児医療の充実について質問しました。



スポーツ環境整備・スポーツ振興について

おがわ つよし
小川剛(清風クラブ)

体育施設の整備について

問 東横野野球グラウンドの屋外トイレ改修はどうか。

答 (教育部長) 簡易式の洋式トイレを現在のトイレに隣接して設置の方向で検討します。

問 テニスコートへのナイター照明を希望する方が多いがどうか。

答 (教育部長) 費用対効果、受益者負担、周辺住宅への影響等を勘案し検討が必要です。

体育施設の建設や既存施設改修について

問 弓道場建設を求め、平成28年5月に1,186名分の署名付き請願書が議会に提出可決され、平成30年10月に市側から弓道場図面が提示されたが、全く進展がない。今後の計画はどうか。

答 (教育部長) 弓道場建設は、新市庁舎建設で現在使用している旧安中高校跡地の弓道場が使用できなくなるため、代替え施設の整備について、既存施設の活用も含め検討します。

問 武道場の整備を剣道連盟安中碓氷支部が求めているがどうか。

答 (教育部長) 格技場に柔道場と剣道場があり、格技場屋根改修の際、道場の床等も改修しますのでご理解願います。

問 子ども用、大人用の屋外バスケットゴール設置はどうか。

答 (教育部長) ドリブル等で騒音が発生するため、周辺住民への配慮が必要です。

ネットボールについて

問 日本ネットボール協会は安中市内に拠点があり、身近に指導者がいるので、市内小中学校の学校体育への導入はどうか。

答 (教育部長) 学校毎の選択が基本となります。義務教育段階で身に付ける基本的知識・技量や運動量、上位学校への接続等を考慮し検討が必要です。

その他、体育施設のWeb予約導入、G-WALK+で健康な社会づくりに向けて質問しました。